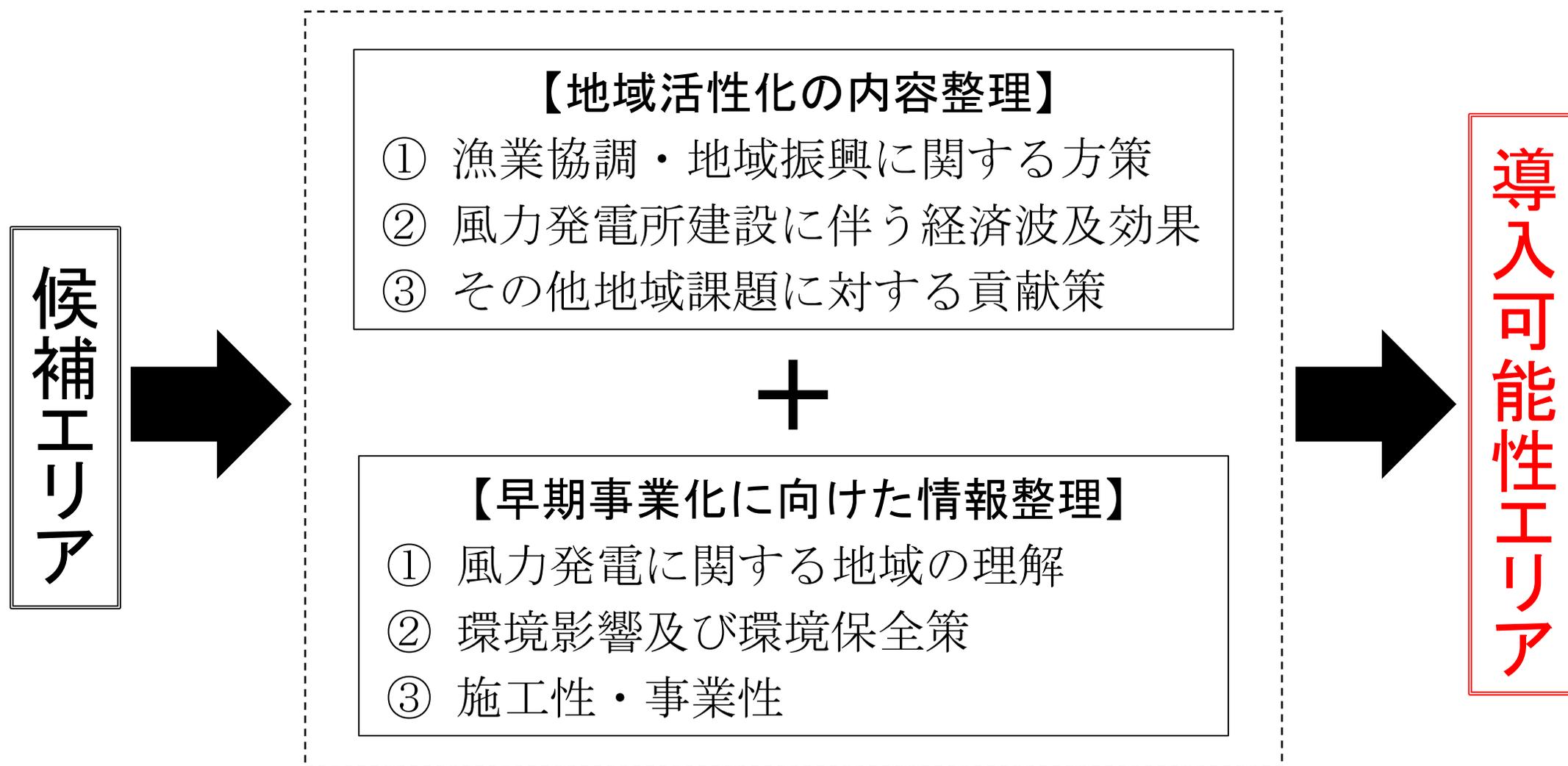


■ 「導入可能性エリア」の抽出条件

「候補エリア」内において、早期の事業化が見込まれ、事業による地域の活性化が期待できるエリアを選定する。



導入可能性エリア抽出条件の検討

【地域活性化の内容整理】 「地域活性化」に有効なエリアかどうか

項目	検討内容
①漁業協調・地域振興に関する方策	実現の可能性がある項目出しを行い、候補エリアごとに有効な方策を抽出する。 (漁場や漁港整備、海況情報の提供、地域の事業への参画など)
②経済波及効果	風力発電事業を実施した場合、近接する地域にもたらす経済波及効果について候補エリアごとに試算を行う。
③地域課題に対する貢献策	近接する地域での課題をヒアリング等を基に整理し、事業実施に併せて課題解決する可能性について候補エリアごとに検討する。 (道路整備、公民館等の公共施設の整備など)

【早期事業化に向けた情報整理】 「早期事業化の実現性」が高いエリアかどうか

項目	検討内容
①風力発電施設に関する地域の理解	近接する地域において地域の理解を早期に得ることが可能か候補エリアごとに検討する。 (利害関係者の把握、連絡調整会議等の合意形成の手法や手順など)
②環境影響及び環境保全策	事業実施に伴う環境への影響、環境保全策の有無等を候補エリアごとに整理する。
③施工性・事業性	水深や離岸距離に応じたコスト算定、港湾や送電線、変電所等のインフラ整備、海底地質等について候補エリアごとに整理を行い、事業の実現性や早期事業化の可能性について検討する。